

令和5年度のふり返り

今年度の活動のふり返りと来年度の抱負

【1学年】

・私は、今年度のみらい塾でたくさんの方々との出会い、交流することができました。人と交流するのが苦手な私にとってみらい塾を通して意見交流できたことは大きな自信になりました。新渡戸文化中学校生のみなさんとの交流や静岡スタディーツアーではいろんな角度、視点で物事を捉える大切さを学びました。また新渡戸文化中学校生さんとのフィールドワークでは、新たに地元の魅力と課題に気づくことができました。反省点は、今年度の前半、みらい塾に参加する回数が極度に少なかったことです。入学前からみらい塾の生徒になることを希望したものの、部活ばかり優先してしまい、大事なミーティングや行事に参加できていませんでした。また、ミーティングやスタディーツアーなどの意見交流で、発言や質問の回数が他の生徒に比べ少なかったことです。そのため自分から何か新しい発見をしようと行動したことを今思い出すことができません。来年度はそれらの反省点を踏まえ、今年度同様沢山の方と交流しいろんなことに挑戦していきたいです。そして自分がみらい塾生の一員として地域やジェンダーについて興味関心を深めたいです。(矢野 葵生)

・私は、今年度のみらい塾で新渡戸中学校のみなさんや市の人、大間々の人々などといった多くの人々と交流して行きました。しかし、まだまだ未熟で多くの人と交流する際、質問がなかなかできなかつたり、詳しくインタビューすることができなかつたりなど、足りない部分が多くありました。質問回数や詳しく色々な人々へのインタビューなど足りない部分もありました。ですので来年度は多くの人と交流する中で発言を多くしたり、大間々の街をもっとよりよいものにしていきたいです。(和田 雄暉)

・私は、みらい塾の活動を通して校外との交流をたくさん経験することができました。そこでは、自分の考えを伝えるときにわかりやすく話すことや新たな考え方・視点を学ばせて頂きました。また、学校説明会やオープンスクール、伊勢崎高校で開催されたiTanQ"X"の発表にも参加したりと、人前で発表する経験をたくさんさせていただきました。来年度は、今年度できなかったことに挑戦したり、これまで学んできたことを今後の活動に活かして行きたいと思います。(江原歩優)

・私は、みらい塾の活動で沢山の人と関わりました。話を聞いたり対話をする中で想像力と発想力が足りないなど今年度のみらい塾の活動を振り返って思いました。よく主語が抜けてしまうのでそれを直すとともに来年度は活動に積極的に参加し、自分の足りないところを補えるように多くのことを学んで、これからの活動に活かしていきたいです。(中島愛理)

・私は、今年度で初めてみらい塾生になりました、はじめはわからないことがたくさんあり、人前で発表したりすることがあまり得意ではなかったのですが、協働ミーティングやディス

カッションに参加させていただいたことで、人にわかりやすく伝える力がついたと思いました。また、校外の人との交流がたくさんあり、普段の学校で行うみらい塾の活動だけでは得られない学びを、校外の人との交流で得ることができました。来年度は後輩が入ってくるので、お手本の先輩になれるようこれからも成長していきたいです。(長谷美有菜)

・私はみらい塾に入り大間々の街の方々や新渡戸文化中学校のみなさんなどいろいろな方にインタビューや交流をさせてもらい、自分だけでは発見することができなかった魅力に気がつくことができました。なので気づいた魅力は今後のみらい塾に活かしつつ、インタビューや交流などといった地域の人との関わりも継続し、増やしていきたいと考えました。そして、まだみらい塾生としての自分に納得できていないのですが来年からは先輩として後輩に教える立場になるので、しっかり責任感を持ち今までに行ってきた活動や経験を活かして全力で取り組んでいきたいです。(岩崎陽奈)

【2学年】

・今年度は、新渡戸学園の中学生の皆さんとの交流で大間々の良いところ、東京との違いを話し合いながら、交流で仲を深めることができました。そして、私たち大間々高校の生徒も東京都の中野区へ行き、大間々との違いを探することで、実際に行って自分の目で見ることもできたので、今後どう活動していくべきなのかを考えるきっかけとなりました。まだまだ課題は沢山ありますが、今後も今回の交流を活かしていきたいと思います。(今泉心優)

・今年は昨年よりも学校の外での交流が増えました。例えば新渡戸中学校との交流では私たちが気づけなかったことを発見できたり、実際にツアーガイドとして街を案内したりと、初めての経験が多く、大変だったこともありました。でも、一緒に街を散策して、より細かいところまでみることで、とても楽しく良い経験になりました。(鈴木大晴)

・今年度は昨年度と比べて様々な場所で発表する機会が増え、新しいことにも挑戦し、たくさん成長できたと実感できた1年でした。また、今年度はみらいツーリズム実現の第一歩として東京にある新渡戸文化中学校の皆さんが、フィールドワークとして群馬に来てくださり、東京とみどり市を比べることで、今まで知らなかった部分も知ることができ、改めて様々な目線でみどり市について学ぶことが大切だと感じました。とても楽しく、色々な事が学べた1年でした。(上野朔弥)

・昨年よりも街をよく見る機会が増えた実感があります。以前であれば、歩くこと1つとっても便利さ不便さ、ただ立って見るだけでも景観の良さ改善点、鉄道に乗るお客さん1人とっても、どこから来たのかどこに行くのか、目的、知ったきっかけ等、非常によく見て考えを巡らせた実感があります。その他、新渡戸文化中学校の皆さんからのご指摘、お褒めの言葉をいただき、気がつかなかった町の良さ、全くの盲点であった改善点等、これからまちづくりを行う際、鍵になるであろう情報に気づくことが出来ました。これらの情報を元に、今ある良さを残しつつ、地元民にも新たな住民にもより過ごしやすい環境づくりに尽力したいと感じました。(森田真衣)

